

【代表的な研究テーマ】

□ **生涯学習・社会教育に関わる調査研究**

□ **大学と地域の連携**

キーワード：生涯学習、社会調査、地域づくり、域学連携

研究の概要

1) 生涯学習・社会教育に関わる調査研究

幼児から高齢者まで、人が互いに学び合い、高め合う関係をどうつくりあげるかを研究テーマとし、会話分析等の質的調査とアンケート等の量的調査を組み合わせた調査研究を行っています。また、地域社会において学び合う関係がどうつくりされているか、その関係性をどう活性化するかを研究テーマとしています。

2) 大学と地域との連携

大学の地域連携の窓口として、「地域連携応援プロジェクト」「地域課題解決支援プロジェクト」を担当し、学生・教職員が、地域社会における課題を手がかりに地域住民と交流し、学び合う取組をコーディネートしました。また、東伊豆町、松崎町、南伊豆町、藤枝市、静岡市等では学生とともに、フィールドワークや地元学研修を行ってきました。

3) 地域と大学が交流するプラットフォームづくり

上記2つの取組の中で、地域における、また地域にかかわる多様な主体が交流し、学び合う学習ネットワークのあり方、ならびに多様な参加のあり方を許容しながら継続的に関わり合うプラットフォームのあり方を研究しています。



社会連携へ向けたアピールポイント

- ・全国生涯学習市町村協議会と連携し、文科省委託「生涯学習推進のための地域政策調査研究」を受託、「大学－地域連携」「継続的な地域づくり」をテーマに160自治体、104大学、550市民団体を対象とした調査研究を行いました。
- ・大学－地域連携窓口の活動として大学開放および地域連携事業の企画・運営を行い、学生・教職員が地域と関わり、協働する取組を支援しています。
- ・関連書籍等：
『質的調査法を学ぶ人のために』『会話分析への招待』世界思想社、『<社会>を読み解く技法～質的調査法への招待』福村出版、『大学開放論』大学教育出版、『変化する時代の社会教育』日本社会教育連合会。

松崎町と静岡大 連携の在り方探る



静岡新聞 平成27(2015)年2月12日掲載
静岡新聞社編集局管理部許諾済

■ その他の社会連携活動

- ・文部科学省「開かれた大学づくりに関する調査」有識者会議委員(2013年～)
- ・国立中央青少年交流の家・運営協議会・委員長(2016年～)
- ・静岡県社会教育委員会・会長(2012年～2018年)
- ・静岡県学校・家庭・地域連携推進委員会・委員長(2011年～2024年)
- ・静岡科学館運営協議会・委員(2020年～)

■ 相談に応じられる関連分野

- ・生涯学習・社会教育
- ・大学－地域連携
- ・社会調査



阿部 耕也

地域創造教育センター
未来社会デザイン機構
地域創造学環
教授

4	11	17
質の高い教育をみんなに	住み続けられるまちづくりを	パートナーシップで目標を達成しよう